

# 子ども会 栃木

2021.3  
第14号



## CONTENTS (目次)

- |                    |   |                  |     |
|--------------------|---|------------------|-----|
| ・会長あいさつ……………       | 1 | ・ジュニアリーダースクラブ紹介… | 3~4 |
| ・表彰事業……………         | 1 | ・令和3年度県子連事業計画・   |     |
| ・リーダー養成事業……………     | 2 | 安全会だより……………      | 5   |
| ・教えて!みんなの子ども会…………… | 2 |                  |     |

表紙の写真は、県内各地域の子ども会活動の様子です。



## 「コロナ禍の中で」

一般社団法人 栃木県子ども会連合会  
会長 内藤 進

令和2年度は、「新型コロナウイルス感染症」との対応で終始した一年でした。県内市町子連、単位子ども会のほとんどの組織が子ども会活動の中止、延期を余儀なくされました。非常に大変な一年であったと思います。その中でワクチン接種が、国の方針として2月中旬より実施するとの方向性が示されました。栃木県内各市町でも、3月下旬の接種を目指して準備を進めている模様です。

県子連としても、この現状を改善しなければなりません。

まず、話し合いの場所を確保するのが最優先と考えました。一堂に会して会議を開催することは、現状を鑑みますと適切ではないと判断しています。

県子連事務局としては、「Zoom」を利用してオンライン会議実施のために準備を進めています。県子連事務局をキー局として、県子連理事会、県子連総務委員会、県子連指導委員会、市町子連会長会議、各市町子連事務局等を個々のオンラインで結んで話し合いの場を設けるべく準備を進めています。3月のオンライン化を目指しています。

それに伴い同時期に、各市町子連事務局と単位子ども会の間にも「Zoom オンライン」化を推進していく予定です。令和3年4月より募集を開始する予定です。Zoomとの1年間の契約料は県子連で負担する予定です。この環境整備として、ネット通信可能なパソコン、タブレット、スマートフォン等のいずれかが必要となります。

令和3年度は活動を再開できる年にしたいと考えております。関係者皆様と共に考え、話し合い、方向性を示していきたいと考えています。

コロナ禍の中でも、安心安全な子ども会活動の再開を目指して皆さんと一緒に知恵を出し合いましょう。

子ども会活動再開の留意点として、Eメール通信「子ども会栃木」最新号 Vol.107 に掲載してありますので、そちらも一読していただければと思います。

令和3年度も宜しくお願い致します。

## 表彰事業

### 令和2年度 県子連会長表彰受賞者

長年に渡るご活躍に対し、県子連表彰が行われました。皆様、誠におめでとうございます。  
なお、今年度はコロナ禍の影響により授与式は執り行われませんでした。



#### 《団体表彰》

- ・芳賀町ジュニアリーダースクラブ（芳賀町）
- ・外城育成会（小山市）

#### 《個人表彰》

- ・尾嶋友晴（芳賀町） ・鶴貝太地（足利市） ・犬井和江（鹿沼市）
- ・森田義治（小山市） ・森本 忠（矢板市） ・相澤真吾（足利市）

#### 《市町子連会長退任者表彰および配偶者感謝状》

- ・藤川久乃・剛（高根沢町）

#### 《県子連会長推薦表彰》

- ・堀江 功（前宇都宮市子ども会連合会事務局長）
- ・渡邊美津子（宇都宮市子ども会連合会副会長）
- ・五十嵐市郎（前栃木県子ども会連合会指導委員）
- ・古澤博文（さくら市子ども会連合会会長）
- ・高堀孝雄（那珂川町青少年育成協会会長）

#### 《県子連退任役員表彰》

- ・田中美雪（事務局員）

## お知らせ

当初、令和3年8月に予定されていた『第49回関東甲信越静地区子ども会ジュニア・リーダー研修会栃木大会』は、新型コロナウイルス感染症の影響により、**令和4年の実施**となりました。

**（令和4年8月19日（金）～21日（日） 会場：なす高原自然の家）**

令和元年に栃木県子連内に準備委員会議を設置し、大会の準備を始めているところです。  
ジュニア・リーダーやユース・リーダーの多くの参加協力をいただき、一緒に大会を盛り上げていきましょう！

## リーダー養成事業 (ジュニア・ユース)

県内の子ども会やジュニア・リーダークラブ及び青少年健全育成団体に関わる中学生・高校生が一同に会し、自然体験学習の指導法や子どもの育成等を学ぶことを通して、個々の意識および技術を高め、栃木県の青少年健全育成を推進します。

### 栃木県子ども会ジュニア・リーダー研修会

令和2年9月27日(日) 於:とちぎ青少年センター

例年3回開催されるジュニア・リーダー研修会ですが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響から、日帰りの研修会が1回実施されました。

当日は、ジュニアリーダー29名(中学生20名,高校生9名)が参加、『コロナ禍での子ども会活動を考えよう』をテーマに、コロナウイルスの感染リスクを下げながらの子ども会活動でのジュニアリーダーの役割や、3密を避けたレクリエーションやゲームの在り方について学びました。



また、午後には、2022年に予定されている関ブロJL栃木大会の概要説明会が行われ、新しく加わった8名を加えた計13名のユースリーダーに委嘱状が手渡されました。



(令和3年3月現在 計19名)

## 教えて!みんなの子ども会!

今年度はコロナ禍の影響から、多くの活動を断念せざるを得ない状況となってしまいました。新年度は、少しでも子ども達の笑顔が戻ってくるような状況になることを祈ります。

### 足利っ子凧上げ大会

開催場所: 足利市立山前小学校 食堂ほか  
地区: 足利市山前地区育成会連絡協議会  
開催日: 令和2年10月25日~令和3年2月7日(10回)  
参加人数: 大人30名(中学生22名含), 子ども16名

概要: 残念ながら大会本番(2月7日)は中止となってしまったが、大会に向けて、足利市立西中学校生徒会が中心となり、畳七畳半の大凧を作成。また、山前地区育成会の子どもたちが中学生の助けを借りて連凧を作成。子ども会事業は単発となりがちだが、凧上げには、竹削り・下絵描き・色塗り・骨の組み立て・張網の調整・バランス調整と多種多様で継続的な活動が含まれるため、多くの方たちと協力して成し遂げる過程は、子どもたちにとって大変貴重な経験になると感じている。

子ども達の声: ・色塗りは、皆で協力して出来たので楽しかった。

・骨組みは紐の結び方が難しくて苦労した。

指導者の声: 今年、コロナ禍で各種事業が中止となり、子ども達が集まって何かをすることが無かったので、凧作りを楽しんでいる姿を見ることができてうれしい。



### 目指せ! なぞとき鹿沼マスター

開催場所: 郵送による開催  
地区: 鹿沼市子ども会連合会  
開催日: 令和2年10月22日~11月25日  
参加人数: 市内全小学生  
テーマ: コロナ禍でも楽しめる行事

概要: 例年、「子どものつどい」を行ってきたが、コロナ禍での開催は難しいと断念。しかしながら、子どもたちに楽しんでもらえる事業は出来ないものかと検討し、郷土への関心を高めることを目的に「目指せ! なぞとき鹿沼マスター」と題し、鹿沼市に関する問題を100問作成、募集チラシ・解答用紙を市内の全小学生に配布。61名から郵送での解答提出があった。中にはユニークな解答もあり、問題を通して鹿沼市の歴史や文化、有名な場所や人物など、改めて鹿沼市の良さを再確認できる機会となった。

参加者の声: ・コロナ禍のなか、色々な行事が中止になっているが、今回このような事業を作っていたきよかった。



・子どもと共に問題に取り組むことにより、有意義な時間を共に過ごすことができた。

・鹿沼について今まで知らなかったことなど、幅広く知ることができた。

## さくらリーダーズクラブ (さくら市)

① 会員数：54名（高校生24名、中学生30名）  
主な活動：役員会、定例会、市子連事業及び子ども会育成会活動の支援、市主催の事業への参画等

② 今年度最初の活動は、得意とするレクリエーションとバルーンアート作製の動画を撮影し、YouTubeにアップ。初めての取組だったため、しゃべるスピードや説明の仕方、見せ方などが上手く撮れず、撮影した動画を見なおし、改善を繰り返して完成させた。



- ③
- ・他市町リーダーズとの交流
  - ・昔遊び、餅つきなど、皆で交流ができることの企画
  - ・廃校などを利用して「逃走中」企画の実施。  
（「逃走中」：テレビで放送された番組の真似）
  - ・レクリエーションをしながらバーベキュー体験支援
  - ・キャンプ支援
  - ・ツインリンクもてぎでの散策、木工工作、アスレチックス、カート、バイク体験の支援 等



## 大平町リーダーズクラブ (栃木市)

① 会員数：18名  
活動場所：大平公民館  
主な活動：リーダー研修会、子どもフェスティバル、三世代交流会等

② 現在、コロナ禍の影響により、各子供会等で催し物が中止となっているため、県ジュニアリーダーズ研修会で学んだ、「コロナ禍での子供会活動を考えよう」を基に、レクリエーション活動を実際にジュニアが実践してみました。活動が制限されている中でも明るく楽しくコミュニケーションが取れるよう頑張っています。



- ③
- ・リーダーズOBの先輩から教わったバルーンアートをイベントなどで披露したい。
  - ・子どもフェスティバルが今年はコロナ、去年は台風被害により2年行うことができなかったため、来年度こそは大いに盛り上がるようなイベントにしたい。
  - ・関プロジュニアリーダー研修大会にも参加したい。

コロナにな  
**元気な  
ジュニアリー**

コロナ禍で例年通りの活動がままならない中ですが、前向きにそして元気に活動する県内各地のジュニアリーダー。その中から、今回は6つのクラブを紹介します。

## 日光りーだーず (日光市)

① 会員数：会員数74名（ジュニアリーダー51名、シニアリーダー23名）  
活動場所：主に日光市役所  
主な活動：月1回の定例会、各種事業へ参加及びボランティア派遣等

② 「日光市青少年リーダー研修及び自然体験事業」に参加（小学4～6年生の参加者に対し、コロナ感染防止対策をしながら、どのように楽しませることができるかを皆で考えて活動を実践）



- ③ コロナ禍により例年おりの活動が難しいなかでも、ジュニアリーダーは、今できることに意欲的に取り組んでいます。まずは、日常の活動に戻ることを願っています。

## 上三川リーダーズクラブ（上三川町）

- ① 会員数：37名（高校生5名，中学生23名）  
活動場所：上三川町中央公民館  
主な活動：リーダー研修，キッズ養成塾（次期リーダー研修），各単位子ども会や学童への協力（出前），町福祉まつり，町公民館フェスティバル等町事業への協力，社協主催「ふれあいお楽しみ会」への協力，KLC研修



- ② キッズ養成塾（次期リーダー研修）- 秋を探しに行こう - を芳賀青年の家で開催，苦勞した点は，例年は1回の開催だが，感染拡大防止対策で人数を絞り2回開催。また，できるだけ野外での活動とした



- ・工夫した点は，事前説明会を例年午前1回開催から午前・午後の2回開催，参加者・KLC・役員に参加日アンケートを行い参加人数を調整。正直に言えば，例年通りにやりたかった



- ③
- ・KLC研修（交流会兼勉強会）を例年1日だけ開催しているが，宿泊できる施設を利用して年に2回開催したい。
  - ・創立40年以上のクラブなので，伝承するレクやダンス等を身につけたい，自分たちで独自のレクやダンスを作りたい

て負けない！

## リーダーズクラブを 紹介します！

- ① 現在（令和2年度）会員数，活動場所，例年の主な活動
- ② 今年度の活動内容や今年度苦勞した点，思った事など
- ③ 来年度（新型コロナウイルス感染症が終息したとして）やってみたい事やチャレンジしたい事など

## 宇都宮リーダーズクラブ（宇都宮市）

- ① 会員数：18名（高校生のみ）  
活動場所：主に市教育センター  
主な活動：季節に応じた各子ども会からの依頼でのキャンプ等のお手伝い（年20回程度），週1回の定例会，市主催イベント等への参画など
- ② ZOOMでの定例会（1月から開始）新入生研修会，クリスマス会等  
新型コロナウイルス感染症対策で気をつける点が多く，定例会ではマスク着用，検温の実施，例年とは全く違った活動で，当たり前のありがたさを知った
- ③ 今年度出来なかった新入生歓迎会や子どもたちとのキャンプをしたいです。また各種子ども会のイベントなどに参加したい



## 足利ジュニアリーダーズクラブ（足利市）

- ① 会員数：19名（高校生のみ）  
活動場所：生涯学習センターほか，市内各所  
主な活動：総会，定例会（不定期），少女ドッジボール大会や子どもリーダーチャレンジ，足利っ子凧あげフェスティバルなどのサポート活動，市教育委員会の依頼による各種行事への協力等



- ② 総会や定例会が書面開催となるなど，クラブ員同士が会って意見交換をする機会がほとんどありませんでした。8月に市主催のジュニアリーダーズスクールで，名草キャンプ場にて野外炊飯やネイチャーゲームなどを行い，他校の高校生と一緒に活動したことが良い思い出となりました。



- ③ ジュニアリーダーの役割のひとつである地域の子もたちとふれ合うこと，色々な行事を通して指導者と子どもを繋ぐ活動ができることを願っています。新型コロナが終息していない場合であっても，コロナ禍の中，クラブ員や参加者の安全性を確保したうえで何かできることを，みんなで話し合いたいと思います。



★令和2年度から全国子ども会安全共済会への加入がインターネットで出来るようになっていひます!

## キーポイント

- ① 導入するのひ市町子連の中で、**希望する単位子ども会のみ**です。(強制ではありませひ)
- ② メリットは、前年度入力した名簿を次年度も応用して使用できるのひ、**手間が省ける**ことです。
- ③ 希望する単位子ども会は、市町子連を通して県子連から全子連に申込みが必要でひ。
- ④ 単位子ども会の担当者は、インターネット環境があることが条件でひ。



「単位子ども会 → 市町子連 → 県子連 → 全子連 (全国子ども会連合会)」がインターネットでつながって始まります。

## 「単位子ども会」からの加入手続き

- ① 希望する単位子ども会は、市町子連に「ネット加入」導入の意思を伝え、申込みます。
- ② 市町子連から通知されたURLで全子連の安全共済会ネット加入ページに入ります。
- ③ 最初にユーザーIDとパスワードを単位子ども会独自に設定し、代表者等の必要事項を入力して、単位子ども会情報登録をします。
- ④ 登録が完了したら、ログインして加入者名簿や年間行事計画等を入力します。
- ⑤ 入力が終わったら、ネット加入用の<共済様式>加入-11Sを記入します。
- ⑥ 単位子ども会会長印を押して、この用紙1枚と人数分の会費を市町子連に届けます。



## 「市町子連」での手続き

- ① ネット加入を希望する単子がある市町子連は、県子連を通して全子連に申込みます。
- ② 全子連から各市町子連にユーザーIDとパスワードが指定されてきます。ログインすると当該市町子連内でネット加入を採用した単子の名簿や年間行事計画等、入力された情報を閲覧できます。(加除修正や他市町子連の情報閲覧等は出来ませひ)
- ③ ネット加入した単子からネット加入用の<共済様式>加入-11Sと会費を受取ったら、ログインしてその単子の名簿を開き、合計人数が一致しているか確認します。同時に会費も確認。
- ④ 確認できたら、ネット加入用の<共済様式>加入-02Sを記入します。(ネット加入採用の単子と、従来の書類による単子の両方について記入)
- ⑤ 両方の加入方式による合計人数分の会費を県子連に振込みます。
- ⑥ 市町子連が県子連に送る書類は、従来の書類加入による単子の従来の書類と、ネット加入採用の単子の「加入-11S」及び市町子連が作成した「加入-02S」となります。
- ⑦ ネット加入を採用した単子分の名簿や計画書等の書類が無くなります。



お父さん、お母さんも一緒に入ろうね!

## 令和3年度 栃木県子ども会連合会主催事業 (抜粋)

月日	主催事業	会場	月日	主催事業	会場
4/25(日)	第1回理事会 第1回市町子連会長会議	教育会館	10/31(日)	第2回県子連理事会 第2回市町子連会長会議 ※子ども会育成者・指導者研修会	教育会館
5/16(日)	定期総会 臨時理事会	教育会館	1/23(日)	※第2回ジュニア・リーダー研修会	青少年センター(予定)
6/5(土)~6(日)	※ジュニア・リーダー研修大会	なす高原自然の家	2/4(金)	安全共済会説明会	教育会館
6/27(日)	※安全啓発初級指導者養成講習会	青少年センター	2/6(日)	安全共済会ネット加入説明会	教育会館
7/4(日)	※子ども会育成者・指導者中央研修会	青少年センター	3/13(日)	第3回理事会 第3回市町子連会長会議	教育会館
9/26(日)	※第1回ジュニア・リーダー研修会	青少年センター			

- 県子連が主催するスキルアップ研修(※印)に奮ってご参加ください。
- 詳しくは、各市町子連に配られる開催要項をご覧ください。
- 希望の場合には、各市町子連事務局を通してお申し込みください。

【発行】一般社団法人 栃木県子ども会連合会

〒320-0066 宇都宮市駒生1-1-6 栃木県教育会館内 TEL.028-621-1154 FAX.028-621-1124

E-mail:tochigikenkoren@ia1.itkeeper.ne.jp ホームページ: https://www.kodomo-kai.or.jp/tochigi/

【発行責任者】会長 内藤 進